

# 千年文化

Vol.5

伝統と改革、住民の手で

## 小浜放生祭

小浜市

若狭地方最大の秋祭り「小浜放生祭」は小浜男山の八幡神社例大祭で、氏子による大太鼓や神楽、獅子、山車など多彩な演し物が旧市街地を巡ります。これらの演し物は江戸時代まで天王社（現在の廣嶺神社）の祇園祭に出ていたもので、その歴史は約380年以上前にさかのぼります。

小浜放生祭の演し物は、京都・祇園祭の山鉦と同じく、疫病送りのためのものです。山車の宮入で、テンポの激しい囃子とともに神社へ走り込むのは、山車に集めた疫神や悪霊を最後に送り出す場面だと考えられます。三匹獅子舞や江戸型山車の影響なども見られ、京と江戸の文化を取り入れながら、小浜独自の発展を遂げてきたことがわかります。現在では、日本遺産「御食国若狭と鯖街道」の構成文化財にもなっています。

長く地元の人々だけに親しまれてきたこの祭りは、30年ほど前、若者たちが伝統を再構築し、地域内外の人々と共に楽しむ祭りへと生まれ変わりました。各地区で巡行する演し物が勢揃いする「宵宮勢揃い」という見どころも加わったほか、昨年からGPSを活用し、各演し物の位置をスマートフォンで確認できる仕組みも導入。歴史と革新が交錯しながら、小浜放生祭は伝統を未来へとつないでいます。



①江戸時代の行列の様子を描いた絵巻「小浜祇園祭礼図」（県指定文化財・廣嶺神社蔵）  
 ②各地区の演し物を1か所で見られる配慮も。写真は山車が集結して共演 ③小浜男山に鎮座する八幡神社 ④氏子の24区が交代で出番を務め、太鼓や神楽などさまざまな演し物を披露 ⑤祭りの1週間前頃から区内で本稽古が行われる。子どもたちも真剣 ⑥大阪・関西万博の福井県PRステージ「恐竜王国福井DAY」で小浜放生祭の魅力を発信

<お問い合わせ>

若狭おばま観光案内所  
 TEL/0770-52-3844

千年文化について  
 詳しくはこちら→



### 祭 TOPIC

#### 令和7年度 小浜放生祭

9月13日(土) 14日(日) 開催。12の地区がそれぞれ大太鼓、神楽、獅子、山車に分かれて区内を巡行します。13日の16時頃には、まちの駅周辺に集結。各地区の特色を生かした演し物の披露や共演が行われます。

※天候により変更の場合あり



詳細はこちら↑

